

(様式第2号)

## 福祉サービス第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

### ②施設・事業所情報

名称：社会福祉法人ちとせ交友会 グリーン長利こども園	種別：幼保連携型こども園
代表者氏名：理事長 山口哲史 園長 出井みどり	定員（利用人数）： 115（115）名
所在地：岡山市中区長利274-1	
TEL：086-208-6177	ホームページ：http://www.chitosek.or.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 令和2年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人ちとせ交友会	
職員数	常勤職員： 25名 非常勤職員： 15名
専門職員	施設長・管理者 1名 保育士 28名
	管理栄養士 2名 事務員 2名
	(医師：嘱託) 2名、(看護師) 1名
施設・設備の概要	保育室6、遊戯室1、職員室1、調理室1

### ③理念・基本方針

Homeという理念のもと保育を行う。法人理念に基づき、子ども達が日中を過ごす第二の家～Home～を目指し子ども・保護者・地域の方の心安らぐつどいの場となれるように愛情いっぱい、笑顔いっぱいのこども園を運営していく。ゆきとどいた安全な環境と家庭的なぬくもりの中でひとりひとりの子どもを大切にし、健康で明るく思いやりのある自律性を持った子どもの育成をする。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

ピアジェの構成論の理論に基づいた保育カリキュラムを基本に自律したこどもたちが育つような教育を行う。（目指す子どもの姿は・生き生きとし、元気に遊べる子・友達としっかり関わり、育ちあう子・自分で考え行動する子）  
法人の特徴である音楽指導を3歳児クラスから取り入れ、楽しく音楽遊びに親しむ環境づくりを行っていく。  
子ども達の可能性を伸ばすためにちとせカルチャーセンターで希望者を対象とした習い事も行っている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 7 年 11 月 19 日（契約日）～ 令和 8 年 2 月 27 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（令和 7 年度）

#### ⑥総評

##### ◇特に評価が高い点

法人全体でピアジェの構成論を取り入れており、こども達が主体的に自らが考えて行動できる環境づくりに努めている。正規職員には、定期的に研修を実施して、不適切な保育がないように学びを深めている。園長は職員の誕生日にメッセージカードを渡し、感謝の気持ちを伝えている。職員間のコミュニケーション力、人間関係もよく、離職率は低い。さらに環境面では、園庭や駐車場も広く、令和9年には、近隣に法人が運営する小児科もできる予定なので、医療体制の強化も期待できる。園内は廊下も広くて日光も入ってくる。テラスでの昼食会や水遊び、シャボン玉を飛ばして、園児が楽しめる環境づくりにも努めている。保護者アンケートでも満足度が高く、職員の日々の頑張りが伝わっていると感じられた。

##### ◇改善が求められる点

災害に対しての危機管理を具体的に決め、危機管理リーダーの配置やこまめに連携が取れるような組織作りに期待したい。5歳児クラスでは、災害時用の備蓄（賞味期限間近の物）を食べる体験をしており、他のクラスでも実施してほしい。また、不適切保育にならないように、年齢に応じた言葉掛けや接し方を職員間で統一してみたいか。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

グリーン長利こども園として受けるのは初めてでした。評価項目に沿って自己評価を行い、なぜそのような評価をしたのかを評価担当者から質問され、その質問に答えていく中で、園の強み、弱みの部分を知ることができました。

職員間で評価結果について共有し、課題となっている部分をどのように改善していくかを話し合いながらこれからのこども園運営に活かしていきたいと思えます。

第三者評価を受けることで改めて、子ども達、保護者、地域の方々からも社会的信頼性が高く、質の高い教育、保育を提供できるよう職員一同、一丸となって取り組んでいきます。また、仕事に携わる職員の心理的安全性を確保し、ちとせ交友会の理念でもある「Home」 にかかわるすべての人にとって心安らぐ場所Homeでありたいという思いをより大切にしていきたいと思えます。

#### ⑧第三者評価結果（別紙）

(別紙)

保育

## 第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・(b)・c
<b>&lt;コメント&gt;</b>  理念はパンフレット、ホームページに記載している。建物内では、玄関、職員室、各クラスの見える所に掲示している。入園式や卒園式の行事の際には、理念について説明する場がある。経験年数の浅い職員や非正規の職員には、子どもの生活や遊びの場面で、ピアジェの構成論の保育については、少しずつ浸透させていっている。		

#### Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・(b)・c
<b>&lt;コメント&gt;</b>  岡山県内の0歳児の情報を収集した結果、人数が減ったことを知った。また、職員の離職率が低いので、園児の受け入れがしやすい。毎年の事業報告書、事業計画書を提出している。今後、非正規職員にも閲覧できるようにする予定である。		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・(b)・c
<b>&lt;コメント&gt;</b>  具体的な課題や問題点は明らかにしており、今後、危機管理研修の実施や非正規職員への研修を取り入れて行こうと計画している。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a · (b) · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の長期計画は、理事長が作成しており、総会にて内容を教わっている。また、職員会議で園内の職員にも伝えている。園長の中では、中・長期ビジョンがあり、今後タイミングを見計らって、徐々に職員に伝えていく予定である。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a · (b) · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年事業計画書を提出しており、園長は他施設の動向も確認できるので、連携が図れている。架け橋プログラム、ICT化を推進しており、今後の目標として掲げている。</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a · (b) · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>新年度に入る前に教育課程、年齢別保育計画を見直して、クラス担任の先生と反省や課題点を話し合っている。運営目標も5つあり、保育の質向上、人材育成強化、安心・安全の確立、財務管理の改善・強化、最適な経営体制を目指して取り組んでいる。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a · (b) · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>現在は事業計画は紙ベースで渡っていて、玄関にも設置しており、いつでも閲覧が可能な状態である。来年度からは、電子機器でも確認できるように変更する予定である。今後は両方で知らせていくように計画している。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人本部主催で、PDCAサイクルに関する内容で研修を実施している。法人本部の総会にて、成長するリーダーがやっていることの3つの説明があり、「人と戦うな、課題と戦え」の教えがあった。研修を受けた園長がこども園内で、職員にフィードバックをしている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、認定こども園の施設関係者評価を行い、保護者アンケートを基に、町内会長、保護者会長に評価をして頂き、改善点については、ホームページに掲載している。挨拶についての課題が挙がり、誰とでも挨拶できる雰囲気づくりとなるように努めている。第三者評価を今年度初めて受審した。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長の役割は、業務分掌表や重要事項説明書、ホームページにて記載されている。毎月、発行している園だよりにも明記している。事務所内にも掲示して、見えるようにしている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>マネジメント研修、危機管理研修、保育の質を高める研修に参加して、学びを深めている。虐待や不適切保育に関する研修も実施しており、職員間でも浸透している。</p>		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回、自己分析シートを活用して、保育の自己評価アンケートを行い、面談をしている。職員の意見を参考に、今後の取組について話し合っている。法人全体でも、保育の質を高めるために研修会を行っている。公開保育を見たり、公開保育を行ったりして、学びを深めている。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>主幹教諭、ミドルの先生たちを中心に、遊びの研修会を行ったり、職員の15分程度の公開保育を行ったりしている。保育の質を高めることができ、職員が自分の自信に繋がれるように努めている。</p>		

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中学生の職場体験、夏のボランティア体験、教育実習も受け入れている。岡山県のショッピングモールでの就職フェスにも毎年参加している。法人が運営する、ちとせこども学院の生徒が、こども園への就職に繋がった事例もある。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>総会にて、理事長の思いや未来の展望を語って頂いた。その際には、これからのVisionとして、療育施設、医療法人、学校法人、保育園事業、民間事業との連携を図れるように取り組んでいる。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>休日の取得は十分にできている。年間の休みを120日間、来年度も取れる予定である。休憩時間の確保やノーコンタクトタイムを計画的に行えるように試作中である。遅くまで残って仕事をすることがないように、行事の作り物も簡素化にし、可能な限り、事務仕事も仕事に交代し合っている。</p>		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>定期的な研修や短時間の公開保育を行っている。日々の保育については年2回、全職員で自己分析シートを活用し、自己評価を行って、園長面談を実施している。自己分析シートにて、個人の目標を明確に示している。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年1回、計画を見直している。カリキュラムの評価の見直しはできており、年内または年度末に必ず行っている。職員研修計画に基づき、各役職に応じた研修に参加している。主幹教諭・ミドルリーダーの先生は、交友会の保育・情報交換を目的に、こどもの発達を理解を深める研修に参加している。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の方向性、マネジメント、こどもの発達を理解を深める研修を各役職に合わせて実施している。非正規の職員にも参加して頂ける研修を増やすべきであると考えており、非正規職員も保育の質を高められるように、園内研修には参加している。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>副園長や主幹教諭が中心となり、実習生の受け入れをしている。今年度は、5名の受け入れがあった。指導者に対する研修があれば、積極的に参加したいと考えている。</p>		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページやパンフレットだけでなく、玄関先に入園に関する資料を設置し、施設関係者評価も掲示している。厚生労働省のホームページにて、園内の情報が公開されている。第三者評価を今回初めて受審したので、今後の結果が掲載される。</p>		

22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>外部監査を毎年実施しており、定期的に公認会計士にも財務の確認をして頂いているので、適正な運営ができています。</p>		

## Ⅱ-4 地域との交流と連携・地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>SDGsの一環として岡山県立城東高校の学生との交流会がある。毎年3月には合唱があり、職員・園児ともに感動する歌声を披露して頂けた。オープン保育(参観日)には、町内会長や近隣のこども園、小学校の先生の訪問があり、架け橋プログラムにも繋がっている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>中学生から社会人まで、ボランティアの受け入れの申請は随時している。ボランティアの受け入れについては、職員間で共有できるようにしている。運動会の際には、保護者が中心となり、駐車場の整備をして頂いた。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>法人の理念については、ホームページやパンフレットにて明示している。子育て支援センター、学童保育、さらには、ホームページやワムネットの「ここdeサーチ」にて紹介している。近隣の内科医、外科医、歯科医、薬局とも連携が図れている。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>竜操中学校区協議会、家庭支援会議に出席し、地域の福祉ニーズを把握して、相談事業を活用している。地域の方の理解もあり、コロナ前には老人ホームとの交流もあった。</p>		

27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>地域の福祉施設や老人施設への慰問がある。地域の福祉施設との情報交換会に参加し、施設内での感染症についての情報交換を行った。入園説明会を毎月行っており、給食の試食会や園庭解放もしている。保護者より給食のレシピが知りたいとの意見が挙がり、レシピの紙を設置している。園は、川治いということもあり、福祉避難所には指定されていない。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもを尊重した保育・教育ができるよう定期的に法人で研修を行ったり、地域の保・幼・小・中学校との連携を図りながら、人権の研修会にも出席している。構成論に基づいた保育を行い、自律した子どもを育成する研修会に参加している。子どもの情緒の安定、発達や育ちを見る目を養っている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どものプライバシーが守れるように、着替えはパーテーションで仕切っている。午睡の時も一人ひとりが休息できる広さを確保している。子ども・保護者のプライバシー、守秘義務についての研修会も定期的に行っている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>月に1回、園の見学会を行っており、ホームページや電話にて知らせている。希望者についても、ネットで申し込みができるように対応している。どうしても見学会の都合が合わない方には、園長・副園長が個別に対応している。利用希望者からの意見には、耳を傾け、職員間で話し合い、その都度見直している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	<b>a</b> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の開始や変更時には、園だよりとスポットで見ることができる内容を玄関・クラスに掲示している。保護者一人ひとりが理解しやすい工夫を園側ではしているが、すべての方が見ているわけではないので、わかりやすく全体に網羅できるように、IT(情報技術)を利用したものを取り入れていくように検討している。</p>		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>卒園した後も何か困りごとがあれば、園に相談するように伝えている。他のこども園に転園される場合には、保護者の許可を取り、次の園に書類を渡して、情報提供をしている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>自己評価と施設関係者評価を実施している。保護者アンケートも行っており、職員間で話し合い、話し合った内容を基に、町内会長、保護者会長に評価をして頂いている。その後、評価内容をホームページや園内に掲示し、保護者も閲覧できるようにしている。小学校の先生からのアンケートでは、「声掛けのタイミングが大切だと思った」との感想を頂いた。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>第三者委員から意見を得るような苦情はない。苦情に関しては、早急に解決できるように取り組んでいる。出た苦情は、苦情会議録にてファイリングしており、見やすいように工夫している。何かあれば、保護者が直接園長に口頭で伝えており、関係性の良さが窺えた。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者が担任に相談したいのか、担任以外に相談したいのかを判断し、心理的安全性が確保できる場所で相談・対応している。基本、保健室で話合うことが多い。運営規定や重要事項説明書、入園のしおりには、相談窓口を記載している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園長を中心に職員間でも内容を把握し、改善策を話し合い、保護者に早急に伝えている。時間がかかるものについては、進めていく方向性、内容や経過を説明している。対応マニュアルは必要に応じて、見直している。フローチャートとして「解決のための仕組みについて」の中に明記されている。</p>		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	○ a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事故防止対策については、ヒヤリハットを意識して作成している。今まで使用していた避難訓練時に使用する防災ずきんについては、2、3歳児クラスでは、頭巾を被ることで視界が狭くなり、避難時に危険を感じることもあり、普段から使用できるカラー帽子(まもる君)に頭を守る補強のついた物を来年度から使用する予定である。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	○ a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>運営規程に明記されている。緊急対応マニュアルの中に、感染症の予防と発生時の対応について明記されている。玄関先にアルコール消毒を置いている。園庭で遊んだ後、こども達には、手洗い・うがいをするように指導している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	○ a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>水害では、行政が気象警報を発令する以前に、送迎や自宅待機をお願いすることを紙面で知らせている。緊急時の対応として、現在は「一斉メール配信システム」(うさぎメール)にて情報を提供している。安否確認の方法を今後も検討していきたいと考えている。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	○ a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育についての研修は、法人で定期的に対象職員が参加している。保育の質を高める研修会にも定期的に参加し、園内で共有したり、姉妹園の現地へ職員が伝えたりしている。保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を基本とし、法人の保育(ピアジェの構成論)を共有している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	○ a · b · c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年度末にクラスの職員に、年齢による指導の見直しを行い、来年度の指導計画に活かしている。園児の個人指導計画は、1期・2期・3期ごとに見直している。何かあればその都度、見直している。</p>		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画に基づく保育実践の振り返りは、公開保育を行い、保育実践の振り返りもグットポイント、チャレンジポイントを口頭や付箋に書いて渡している。アセスメントは実施しているが、保育教諭以外の給食職員、看護師を含めての協議は行っていないので、来年度からは実施したいと計画している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画については、4月の保護者会役員会での説明や同意書を提出して頂いている。保育の質の向上に関わる課題については、毎年アンケート調査を行い、結果を職員で共有して振り返っている。町内会長、保護者会会長にも講評して頂き、結果を保護者にも公表している。</p>		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>パソコンやネットワークを活用して記録を行い、クラス担任が今までの記録ファイルを基に記入しているので、事業所内での情報は共有できている。記録の書き方に差がないように、副園長・主幹教諭が記入の仕方についての確認や指導をしている。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>こどもに関する記録の管理体制は確立している。個人情報の取り扱いについては、重要事項説明書や運営規程に記載しており、写真・動画についても保護者に個人情報の取り扱いについての説明をしており、同意書にサインを頂いている。</p>		

## 評価対象Ⅳ 具体的なサービス内容

### A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年1回、園の全体的な計画の評価を行っている。正規職員には、意見を聴取する場を設けており、同意を得ている。非正規職員には、口頭や書面で伝えるようにしており、情報共有ができています。</p>		

A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者評価結果
A2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、園の薬剤師に湿度、換気、採光、二酸化炭素の量を計って頂き、適切な状態を保持できている。夏場に2階の廊下が暑かったため、昨年エアコンを取り付けた。トイレ掃除、園内掃除といった清潔面については、交替で掃除を行い、それぞれが意識して環境を整えている。絵本コーナーや遊びを選べるコーナーも設けており、必要に応じて、レイアウトも変更している。</p>		
A3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>クラスの担任同士、職員間でこどもの気持ちに寄り添い、思いを汲み取れるようにしている。こども達には、わかりやすい言葉遣いで話すようにしており、不必要な言葉掛けは、避けるようにしている。また、研修や話し合いの場を定期的に設けている。</p>		
A4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園の方針が自律・自立の保育を行うことを願いとしているので、年に数回、職員全員で研修を行っている。正規職員は月1回、年齢別の会に参加し、保育と生活習慣について、こども達が主体的に取り組めるよう学んでいる。また、クラス内や園内で参加していない職員にも伝わるように、書面で残したり、報告会を行ったりしている。</p>		
A5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>毎年、保護者アンケートを実施しており、「主体的に過ごせる環境」、「自己発揮できる援助」に関しては、高い評価を得ている。社会的ルールや決まりごとは、遊びを通して学べるようにしている。室内は季節に応じて、自然物や生き物の環境を用意し、自然に触れることが出来るコーナーを作っている。年齢に応じて、音楽指導や備前焼体験も行っている。</p>		
A6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	(a)・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>複数担任であるので、こども観や保育の方向性については共有できている。発達過程に応じて、必要な保育を行い、家庭との連携も密に取れている。知っている人と知らない人の識別が徐々にできていると園長は答えてくれた。</p>		

A7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>一人ひとりの発達にあった環境を養護面と遊びで保育・教育を提供している。家庭との連携では、懇談・個別ノート・ホワイトボードを活用している。当番時間、園外散歩、保育中に異年齢と過ごす時間を設けている。保育教諭以外では、給食室の職員が入ってのクッキングづくり、給食室がメインで進めるうどん、みそ、アイスクリームづくりも積極的に進めている。</p>		
A8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>3歳以上児の保育はそれぞれの発達にあった、主体的に自律した子に育つような保育環境を提供している。ピアジェの構成論に基づいて、考える教育を実施している。カードやボードゲーム、集団ゲームを取り入れている。5歳児クラスは、ミニブックを活用している。リクテーションとして、文章を書くことも取り入れている。</p>		
A9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>発達的にゆっくりな園児には、職員間でかかわり方を共有している。保護者には園での様子を伝え、困り感がどのような場面であるのかを具体的に伝えている。保護者の要望に応じて、専門機関や相談窓口を紹介している。職員研修にも可能な限り参加をして、学びを深めている。</p>		
A10	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>こどもの状況に応じて、おだやかに過ごすことに配慮し、職員間で言葉掛けや、対応の仕方について話し合っている。土曜日には、園外保育にて、異年齢で過ごすこともある。職員間の引き継ぎは、連絡を受けた職員が口頭と共有ノートで伝え、クラス内でも、朝のおやつ時間や午睡の時間に連絡事項の共有を図っている。</p>		
A11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>岡山市の架け橋プログラムにより、地域の小学校との連携を図っており、定期的に会議に参加している。毎年小学校の先生に園の公開保育に参加して頂き、意見交換をしている。要録も作成しており、小学校入学に向けての引き継ぎの会にも参加している。</p>		

A-1-(3) 健康管理		第三者評価結果
A12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>学校保健計画に沿って研修を行っている。年1回、園医による内科検診・歯科検診がある。0歳児クラスでは、保護者対象に毎年、日本赤十字による乳児の病気、けが、突然死の講習会がある。危機管理研修、ヒヤリハット、事故報告書にて、怪我や事故がないように、安全に園児が過ごせるよう努めている。</p>		
A13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>定期的に診断、健診の結果を基に歯科指導を行っている。保護者に対しては、結果を報告し、治療して頂けるように促している。重要事項説明書には「結果については児童票に記載し、保護者の方に伝えている」と明記されている。</p>		
A14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>アレルギー児については、保育教諭・給食職員・看護師と情報を共有している。アレルギー対応食については、危機管理を踏まえながら、人権的配慮も含め、園児に疎外感がないように対応している。</p>		
A-1-(4) 食事		第三者評価結果
A15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>こどもの発達に適した量を提供し、食べられる物が少しでも増えるように、量を選択して食べられるようにしている。苦手な食材がある場合でも、少しの量でも食べれたという満足感と苦手な物がなくなるように工夫している。園で収穫した野菜をクッキングしたり、野菜の皮むきや野菜の成長に興味を持てるように、食育活動も行っている。</p>		
A16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園内に給食運営委員会を立ち上げ、こども達の給食の食べ具合、クラスの様子を書面で確認している。また、会議での報告、保育教諭と栄養士が話し合いをすることもある。給食室の職員が、定期的にクラスで食事の様子を見ることで、こどもの様子がわかり、日々の給食に活かしている。</p>		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回、保護者との懇談の日を設けている。日々のこども達の姿については、送迎時に直接伝えたり、ホワイトボードで活動内容を伝えたりしている。園だよりにて、参観日や発表会でのこども達の様子を保護者に伝えている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者とのコミュニケーションを大切にしており、信頼関係を深めている。保護者の相談に応じて懇談を行い、月に1度の園庭開放や電話相談を受けれる体制を整えている。一時預かり事業も行っており、【保護者→保育教諭→管理職】、場合によっては専門機関へ相談することもある。</p>		
A19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>虐待の兆候やおそれがある場合は、速やかに上司に相談し、状況・内容によっては専門機関へ早急に連絡している。一時預かりの園児にも対応している。マニュアルも整備されており、定期的に研修も受けている。また、職員間でマニュアルを回覧している。</p>		

## A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		
A20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	○a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>年2回、保育教諭、看護師、給食職員の自己評価を実施している。保護者アンケートの結果を基に、職員間で園の評価も行い、町内会長と保護者会会長にも評価して頂いている。姉妹園での公開保育にも参加して、お互いの保育を高め合っている。</p>		